



ゆたかっ子

ゆめに向かって たくましく かしく生きる ゆたかっ子

学校だより⑧ 10月号
(令和7年10月1日発行)
発行責任者
豊見城市立ゆたか小学校
校長 上原 義仁



今回は、9月後半(10日以降)の様子をいくつか紹介します。また、9月はたくさんの児童が「活躍報告」に来てくれました。裏面の「ゆたか小児童活躍報告」の欄もご覧ください。

外部の方を講師としてお招きした授業

ゆたか小学校では、外部の専門家の方を講師にお招きして学習を進めることが多々あります。

9月11日(火)は、3つの学年で講師の方をお招きした学習を行いました。1年生は鍵盤ハーモニカの専門家の方をお招きし、鍵盤ハーモニカの基礎的な演奏の仕方について学びました。2年生は人権擁護委員の方をお招きして人権の大切さについて学びました。3年生は、給食センターの栄養士の方をお招きして食事と栄養について学びました。専門家の方をお呼びすることで児童に良い学びを提供したいと思います。



ICTを活用した県外小学校との交流学习(5年)

9月24日(水)5校時、5年生は、総合的な学習の時間の一環で京都府の小学校とオンラインでつなぎ、交流学习を行いました。学習では、京都府の小学生が環境問題について学んだことや考えたことを発表し、それに対する意見交換をしました。環境問題はもちろん、まとめ方や発表の仕方の学びにもなりました。



学校保健委員会

9月11日(木)児童の安全や健康などについて話し合う学校保健委員会を行いました。通常、同委員会は学校医や学校歯科医、学校薬剤師、PTA関係者、学校職員など大人のみで話し合いを行います。今年、初めて児童代表も交えて話し合いを行いました。代表で参加した児童は、本校児童の状況など調べたことを発表してくれました。また、今後に向けた話し合いでも大人に交じって堂々と自分の意見などを述べていました。



沖縄県教育委員会学校支援訪問

9月29日(月)沖縄県教育委員会、島尻教育事務所、豊見城市教育委員会から9名の方が本校を訪れ、授業を参観されました。参観後には教育委員会の方々より「子どもが安心して学習できる雰囲気がある」「子どもたちの学びの場の工夫がある」「子どもたちが自分で学びを選択できる環境がある」「誰と学ぶかを選択できるのも良い」など、本校の自己調整学習(児童の主体的な学習)の取り組みに対するたくさんのお褒めの言葉をいただきました。



